

**令和5年度  
佐渡市 自動運転実証事業 取組概要**

# 1. 2023年度\_佐渡市 自動運転実証事業の取組概要

自動運転技術パートナー： ティアフォー社

走行実証ルート： きらりうむ佐渡～岩谷口

※同ルート上で、長いルート・短いルートの2本を用意

- ・長距離ルート：きらりうむ佐渡～岩谷口 (36km)
- ・短距離ルート：きらりうむ佐渡～尖閣湾揚島 (8km)



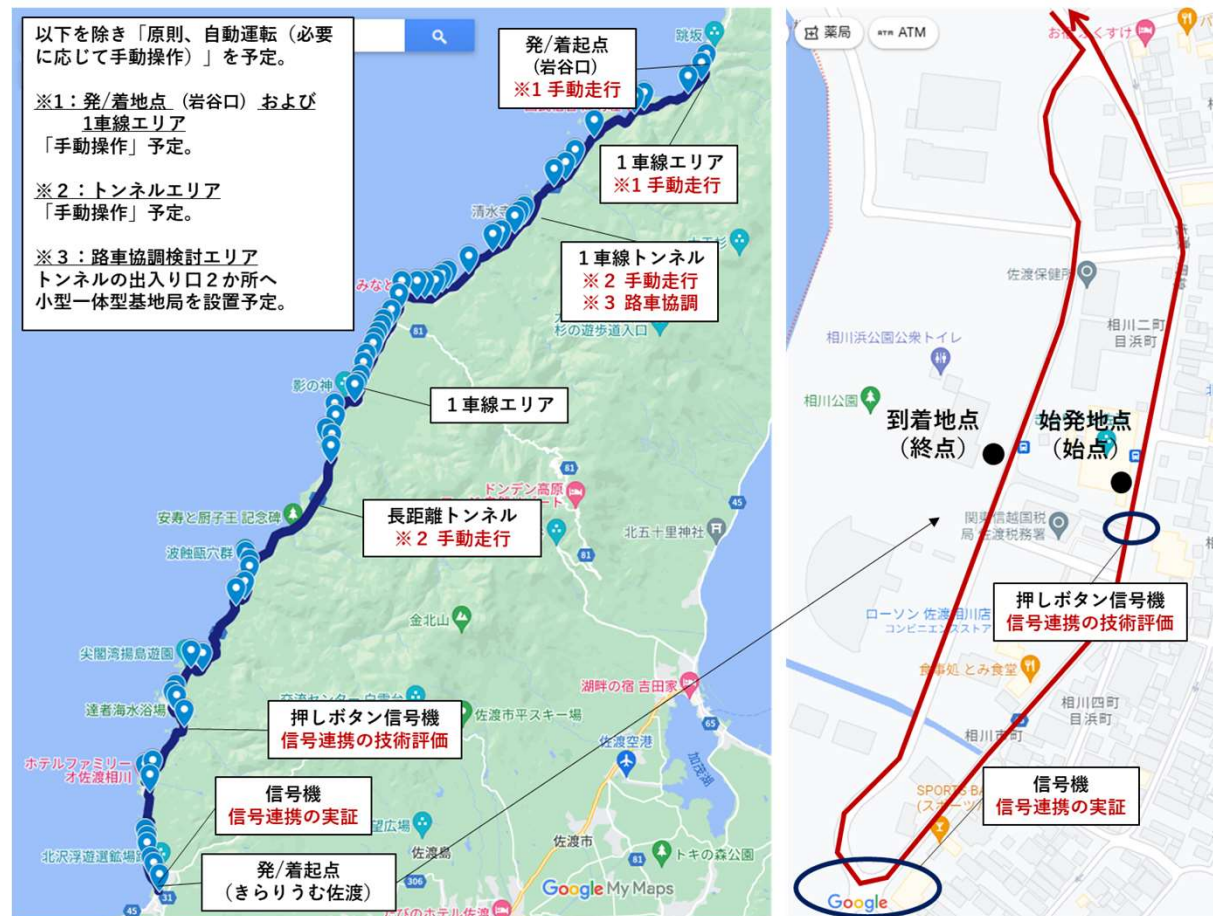
## ティアフォー製ミニバス

- ・実証時最高速度：35km/h
- ・乗車人数：15人（着席）
- ・運転手：ティアフォー  
(新潟交通佐渡の運転手も同乗し  
来年度に向けた教育を同時実施)

試乗期間： 24年1月12日～21日

## 実施内容：

- ・自動運転走行（ODD検証、インフラ協調）
- ・事業性検証（地域側の体制構築、  
異業種連携サービストライアル）
- ・社会受容性醸成（座談会、説明会、試乗会）



## 2. 2023年度\_佐渡市 自動運転推進協議会

### 設立背景

#### 10年後も安心して暮らせる社会に向け、地域主導で自動運転サービスを協議し推進する「場」の創出

- 日本全体でドライバー不足という社会課題が顕著化し、地域交通のみならず物流・福祉・教育・観光といった多岐に亘る業界で持続性・収益性に大きな影を落としている。
- 佐渡市は特に課題先進地であり域外からの人材確保も厳しい状況にある中で、10年後も安心して暮らせる社会を今から考えていくべきと考える。
- ドライバー不足という社会課題を解決する自動運転技術という新技術を活用し、分野の垣根を越えてヒト・モノの移動ニーズと車両提供を束ねつつ、地域の、地域による、地域のための社会インフラとしての自動運転サービスを地域の皆さままで考え、育てていく必要あり。

### 活動目的

- 持続可能な自動運転サービスに向けた業界連携施策の策定・実施**  
⇒ 地域の多様な企業・団体との企業連携の企画・実施
- 地域の移動ニーズに即した自動運転サービスの策定**  
⇒ 2025年度の自動運転サービス実装に向けた実証運行の企画
- 自動運転サービスの社会実装に向けた社会受容性の醸成**  
⇒ 試乗会等、地域住民の理解深化を促進する施策の企画・実施

活動項目	10月	11月	12月	1月
連携サービス協議	→			★ 実施
実証運行内容協議	→			★ 実施
試乗会イベント協議		→	★ 実施	

### 3. 2023年度\_佐渡市 自動運転を中心とした地域共創取組

- ・ ドライバー不足という社会課題が、日本全土で地域交通のみならず物流・福祉・教育・観光業界へも影響を及ぼしている
- ・ 課題先進地である佐渡市にて、10年後も安心して暮らせる社会を目指し、**分野の垣根を越え、ヒト/モノの移動ニーズと稼働車両を束ね、地域の社会インフラとなる自動運転サービスを地域主導で考える「自動運転推進協議会」を運営**

#### 自動運転推進協議会の活動内容

- (1) 持続可能な自動運転サービスに向けた地域の多様な企業・団体との企業連携の企画
- (2) 2025年自動運転サービス化に向けた実証運行の企画
- (3) 地域住民の理解深化を促進する各種施策の企画・実施

#### 自動運転推進協議会の参画メンバー

- ・ 佐渡市
- ・ WILLER (事務局)
- ・ 【交通】新潟交通佐渡
- ・ 【観光】佐渡観光交流機構 (DMO)
- ・ 【福祉】佐渡社会福祉協議会
- ・ 【住民】相川車座の会 (まち協)
- ・ 【物流】ヤマト運輸
- ・ 【物流】日本郵便
- ・ 【小売】ウェルシア

#### 自動運転車両の活用方針

